

# 学校運動部の考察（教師と部活動）

神 文 雄

## 1. 目 的

学校運動部は、教科をはじめとし、その他の教育活動と相まって、教育の基本的目標の達成に寄与する特別教育活動（総括的な目標は、生徒の自発的活動をとおして、個性の伸張を図り、民主生活の在り方を身につけさせ、人間として望ましい態度を養うことにある）の一領域として、教育課程の中で明確に、ミクラブ活動として位置づけられている。

ここに学校運動部の実態を特に指導する教師とその勤務時間の分析を中心にして、ミクラブ指導の問題、に視点をおいて究明し、教師が当面している指導上の問題点を解決するために必要な手がかりを得ようとするものである。

## 2. 調 査 の 対 象

(1) 調査の対象 全日制公立高等学校専任教師

(2) 調査対象の選定

(ア) 調査都道府県ならびに学校の抽出。都道府県に一連番号を付し、 $\frac{1}{4}$ の抽出を行ない、さらに被抽出府県高等学校長協会により、全日制公立高等学校の中から $\frac{1}{6}$ の抽出を行った。

(イ) 調査教師の抽出。学校長に依頼し、次の方式により抽出した。

(i) 教科を次の各群に別け、各群の中から男子で年令30才代の教師を、それぞれ2名無作為に抽出。D群は更に、科主任と女子1名を加えて4名を抽出。（但し、教師が3名以下の場合は全員を対象）A群→国語，社会，外国語，B群→理科，数学，C群→職業，芸能，家庭，D群→保健体育

(ii) A・B・Cの各群は、2名のうち、できるだけ体育関係クラブの指導に当たっている教師。

(iii) 各群で30才代の教師がいない場合は、20才代，40才代，50才代の順で対象範囲を拡大して抽出。

年令を、特に30才代とした理由は、第1に、年令の相異による活動上の差異が予想され、比較分析が困難と考えた。第2に、高校教師の年令分布が多いことによる。昭和37年度学校教職員調査報告書（文部省）によると、全日制公立学校教師の41%を占めている。第3に、クラブ指導にも熱心で、しかも、経験を積んだ年令が30才代であると考えられるからである。したがって、この年令層を捉えれば、この調査の目的に添う教師のおおよその傾向が捉えられるものと考えた。

## 3. 調査の方法・期日

(1) 方法 個人調査票による質問紙法

(2) 期日 昭和39年9月5日（月）より

9月10日（土）までの1週間。但し、この週に試験等で正常授業が行なわれない場合は、

次週とした。

#### 4. 回収及び集計

調査票の回収及び集計は、表1のとおりである。

#### 5. 調査の対象になった教師の特性

##### (1) 教師と学校

抽出された学校を課程別にみた場合、普通課程、職業課程、両課程併設と各課程にわたり、ほぼ均等にみられるが、これらの課程と教師の担当している教科群との関係を見ると、体育主任と男子の体育教師は、おおむね各課程に分布しているが、女子の

表1 回収数及び集計数

府県名 (11)	全日制 立高校数	抽出校数	回収数	集計数
岩手	52	11	90	82
福島	74	18	164	147
埼玉	91	18	107	107
新潟	77	16	158	157
山梨	42	6	58	58
岐阜	57	12	109	109
大阪	89	18	149	125
鳥取	29	6	44	36
山口	57	12	113	113
高知	28	6	59	57
熊本	52	10	92	92
合計	648	133	1143	1083

※回収数に対する集計数の比率は 94.8%

表2 教師と学校

教科群 対象	項目	課程別			学級数別						進学希望率別				年令別				
		普通	職業	併設	15 学以 級下	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30 学以 級上	25 %以 下	26 ～ 50%	51 ～ 75%	76 %以 上	不明	20 才代	30 才代	40 才代	50 才代	不明	
体育科	主任	114	35.1	33.3	31.6	19.7	22.8	29.0	28.5	53.0	18.9	17.1	8.8	2.2	8.3	26.3	29.0	31.6	4.8
	男	190	37.4	32.3	30.3	12.0	22.4	32.8	32.8	48.9	19.6	18.3	10.7	2.5	16.1	44.0	4.8	2.0	3.1
	女	86	42.5	21.0	36.5	14.4	23.2	31.5	30.9	45.3	24.3	20.4	7.2	2.8	48.0	29.3	15.5	4.4	2.8
	A群	233	37.5	32.8	29.7	20.6	23.2	29.3	26.9	53.7	19.3	17.1	8.1	1.8	9.2	34.5	4.3	0	2.0
	B群	224	37.0	32.3	30.7	21.3	22.8	28.9	28.5	54.1	18.7	17.2	7.9	2.1	10.4	32.2	4.0	0.6	2.8
	C群	169	27.7	42.4	29.9	19.7	22.8	29.0	28.5	59.1	19.7	13.3	6.5	1.4	13.0	68.0	11.9	5.1	2.0
	ABC 群女	67	47.4	17.5	35.1	23.7	19.3	25.4	31.6	41.2	21.9	26.4	6.1	4.4	15.6	66.0	12.1	2.8	3.5

体育教師とA・B両群の教師の場合は、やや普通課程に多い。これに対して、C群は、その特性上、職業課程が多く、女子は普通課程に厚く分布している。学級数によって学校の規模を分類すると、各教科群とも、比較的規模の大きな学校に勤務している教師が多く、また、進学希望率が比較的低いとみられる学校に勤務する教師が多い。さらに、年令をみると、調査の意図がクラブ指導におかれた関係、また他教科群では30才代の教師が中心になっているので、比較的若い年令層が各教科群を通じて多くなっている。

以上、調査の対象になった教師とその勤務校との関係を要約すると、年令は比較的若く、学校の規模は大きく、進学希望率のやや低い学校に勤務している教師が中心になっており、さらに、これらの教師は、課程別にかなり適確に分布しているといえる。

##### (2) 学校における教師の役割

調査の対象になった教師が、それぞれの学校で、如何なる役割を果しているかを、担当授業時数、校務分掌、ホームルーム及びクラブ担当状況によってみたのが表3である。

各教科群とも、17～19の授業時数が圧倒的に多いが、体育教師の場合には、学校として特別の措置を講じていたり、とりわけ、授業時数を考慮している関係で、他の教科群の授

業時数を若干下廻っている。また、校務分掌の内容を、教務関係等7部門に別けて、担当教科群との関係でみると、全般的に、それぞれの専門分野に応じた役割を分担しているが、体育教師の場合には、生徒指導、厚生・保健体育関係が高い比率を示している。A・B両群の教師の場合には、生徒指導、教務関係が高い。C群では、大体、A・B両群の教師と類似した傾向をみせているが、それ程顕著ではない。女子教師の特色はあまりみられない。体育教師は、その担当教科の特性とも関係しているために、体育関係クラブを担当している率が圧倒的である。しかし、他教科の教師も、年令的に若いということもあり、また、抽出する際の基準が、各教科群それぞれ2名のうち1名は、体育関係クラブの指導にあたっているものとなっていたため、このサンプルは、他教科群の教師の役割分担の状況を代表するものとはいえ、むしろ、若い教師でクラブ指導に当たっている人という特殊な場合を代表しているというべきであろう。

以上、学校での役割分担という角度からサンプルにみられた傾向を要約すると、授業時数では、体育教師は他教科の教師よりも少ないが、校務分掌という面での兼務がかなり多い。また、ホームルームは、担当していない人が多いが、クラブ指導の面では、体育関係クラブを担当している人が絶対多数を占めていることである。

表 3 学校における教師の役割

教科群	項目	週担当授業時数					校務分掌の内容							ホームルーム担当		クラブ担当				
		13時以下	14時～16時	17時～19時	20時以上	不明	教務関係	生徒指導	厚生保健関係	図書関係	図書視聴	施設関係	管理	進路関係	その他	有	無	体育関係	体育と文化関係	文化関係
体育科	主任	114	15.0	42.0	37.7	4.4	0.9	11.8	35.5	72.4	1.3	7.9	0.9	9.2	20.2	79.8	96.1	2.1	0	1.8
	男	190	5.7	30.3	54.8	8.7	0.5	9.7	49.4	55.0	0.8	10.7	2.0	4.8	38.9	61.1	94.7	4.5	0	0.8
	女	86	3.4	22.1	65.6	7.2	1.7	5.0	32.6	68.5	0.6	3.3	2.8	3.3	32.0	68.0	94.1	4.8	0	1.1
	A群	233	1.4	16.7	57.1	24.4	0.4	34.6	37.3	6.3	14.3	3.9	19.6	11.4	74.3	25.7	51.9	17.1	25.5	5.5
	B群	224	2.5	20.0	56.2	21.3	0	41.7	32.8	8.7	7.7	6.6	17.7	11.5	72.1	27.9	46.9	17.0	27.4	8.7
	C群	169	1.6	22.3	52.7	22.3	1.1	26.3	29.9	9.6	11.9	11.3	15.8	24.9	59.3	40.7	34.5	16.4	44.8	4.2
	A・B・C群女	67	5.0	25.5	53.2	16.3	0	32.6	20.6	26.2	10.6	7.1	5.7	17.0	57.4	42.6	2.1	12.8	81.6	3.5

※ 校務分掌の内容については、兼務があるので100%をこえている。

## 6. 結果の考察

### (1) 教師の1週間の勤務状況とクラブ指導

#### ア. 教科別、クラブ種別にみた教師1人当たり週勤務量

男子の体育教師は他の教科群の教師よりも勤務時間が長い。内容からみると、特にクラブでの直接指導に多くの時間を費している。これに対して、他の教科群の教師は、教科の間接的指導である。これは担当教科の性格によるものであろうが、体育教師、特に男子の場合、その相当なる長さについては、注目しなければならない。

クラブの種別による指導の有無という基準でみた場合、他教科群の教師でも、クラブ指導のないよりは文化関係クラブの指導をしている方が、さらに、文化関係よりは体育関係クラブを指導している教師の方がより勤務時間が長くなっている。しかも、それはクラブ指導の時間の程度によって左右されている。つまり、クラブ指導の有無が勤務時

間の長短を決定しているということであり、体育関係クラブを指導している教師ほど、勤務時間が長いということである。

#### イ. 課程別にみた教師1人当たり週勤務量

男子の体育教師はいずれの課程においても、最も勤務量が多い。なかでも、職業課程が最高である。A・B両群の教師は、普通、職業両課程併設校で、男子体育教師に次いでおり、C群の教師は、職業課程が他の2課程の場合よりも多くなっている。

要するに、課程別・教科群別にみた勤務時間では、各課程を通じて、体育教師が最も長く、次いで、両課程併設校のA・B群の教師、さらに、職業課程のC群の教師がこれにつづく、内容別には、体育教師の場合、クラブの直接指導に割いている時間が多く、両課程併設校のA・B群の教師は、教科の間接指導であり、職業課程のC群の教師は、教科の直接及び間接指導に充てられていることである。このように、課程によって、それぞれ、A・B・C群の担当教師及び体育教師の勤務時間に差異がみられるが、体育教師の場合には、進学希望率の比較的低いと思われる職業課程の学校で長くなっている。

次に、クラブの種別及び指導の有無という角度からみると、両課程併設校において体育関係クラブの指導に当たっている教師が最も長い、これはいずれの課程においても共通にいえることである。つまり、クラブ指導に当たっていない教師の勤務時間は短かく、文化関係クラブの指導に当たっている教師は、前者より若干長い、最も長い勤務時間は体育関係クラブを指導している教師である。

#### ウ. 進学希望率別にみた教師1人当たり週勤務量

この調査のサンプルが、進学希望率の低い学校に多かったことにもよろうが、進学希望率が教師の勤務時間にそれ程大きな影響を与えているとはいえないようである。ただ、体育教師の場合には、若干ではあるが、希望率の高い学校での勤務時間が短くなっているようである。これに対して、A・B群の教師は希望率が高くなるにつれて、勤務時間も長くなっているようである。(進学希望率76%以上の学校の場合は、その数が極めて少なかったため、考察の対象から除外した)体育教師の勤務時間が希望率の上昇と共に短くなっているのは、クラブ指導の時間が短縮されているためのものである。クラブ指導という角度からは、上述のように、体育担当以外の教師でも、体育関係クラブの指導に当たっている教師ほど、勤務時間が長くなっている。

表 4 課程別にみた教師1人当たり週勤務量

注1. A・B・C群はいずれも男子  
注2. 44.10は44時間10分を示す

課程別	項 目		合計勤務時間	教科指導関係		クラブ指導関係		学校行事指導等 オームルーム		事務的活動
	教科群	クラブ種別		直接指導	間接指導	直接指導	間接指導	直接指導	間接指導	
普通課程	体育科	主任	44.10	12.25	7.00	9.06	4.40	4.02	2.11	4.46
		男子	46.55	14.04	8.43	11.48	3.22	4.36	1.34	2.48
		女子	43.58	14.05	9.23	8.10	2.08	5.32	1.26	3.14
	A群	42.46	14.31	11.26	5.14	0.46	5.26	2.26	2.57	
	B群	42.51	14.40	10.54	5.11	0.46	5.22	2.05	3.53	
	C群	44.07	13.42	11.36	6.33	1.42	5.10	1.49	3.35	
課程	A	体育関係クラブ	44.10	14.49	11.27	6.31	0.49	5.11	1.54	3.29
	B	文化関係クラブ	42.53	13.44	11.47	4.22	1.16	5.27	2.32	3.35
	C	クラブ指導なし	39.20	13.35	12.22	0.10	0.26	5.57	2.59	3.51

両 課 程 併 設	体育科	主 任	46.46	12.30	9.47	8.53	3.39	5.16	1.07	5.34
		男 子	48.02	13.29	9.28	11.42	2.45	5.50	1.17	3.31
		女 子	44.17	13.44	11.33	6.44	1.35	6.03	1.46	2.52
	A 群	46.52	14.36	12.19	5.56	0.50	7.30	1.58	3.43	
	B 群	46.50	14.19	12.49	5.52	1.14	6.19	2.12	4.05	
	C 群	44.15	14.01	10.24	6.42	1.13	5.50	1.46	4.19	
	A 群	体育関係クラブ	46.31	14.08	11.27	7.33	1.13	6.33	1.52	3.45
	B 群	文化関係クラブ	44.24	14.35	11.25	4.27	0.59	6.17	2.11	4.30
	C 群	クラブ指導なし	44.00	15.16	12.46	0.04	0.04	9.10	2.30	4.10
	職 業 課 程	体育科	主 任	47.34	12.35	8.37	8.25	2.55	6.37	4.11
男 子			49.32	13.27	8.50	11.02	3.29	6.24	3.15	3.05
女 子			44.55	12.22	10.13	5.54	1.43	7.06	3.46	3.51
A 群		43.55	13.30	11.36	5.42	0.57	6.39	2.14	3.17	
B 群		44.02	13.48	11.26	4.58	0.50	6.14	2.17	4.29	
C 群		46.38	14.44	11.36	5.26	1.09	5.52	1.57	5.54	
A 群		体育関係クラブ	45.15	13.57	10.56	6.46	1.06	6.05	2.09	4.16
B 群	文化関係クラブ	44.59	13.47	12.43	3.33	0.47	7.11	2.03	4.55	
C 群	クラブ指導なし	42.14	15.15	12.47	0.40	0.05	4.45	2.35	5.07	

表 5 進学希望率別にみた教師 1 人当り週勤務量

注1. A・B・C群はいずれも、男子  
2. 47.29は47時間29分を示す

希望率	項 目			合計勤務時間	教科指導関係		クラブ指導関係		学校行事指導等 オームルーム		事務的 活動	
	教科群	クラブ種別	目		直接指導	間接指導	直接指導	間接指導	直接指導	間接指導		
25%以下	体育科	主 任		47.29	12.39	8.41	8.21	3.04	6.21	3.14	5.09	
		男 子		48.27	13.27	8.55	11.18	2.58	6.05	2.27	3.17	
		女 子		44.33	13.37	10.37	6.35	1.46	6.25	1.50	3.33	
	A 群		43.28	13.54	10.52	5.47	0.39	6.32	2.12	3.32		
	B 群		44.22	14.09	11.14	5.11	0.43	6.19	2.17	4.33		
	C 群		45.50	14.29	10.45	6.03	1.15	5.58	1.53	5.27		
	A 群	体育関係クラブ		45.05	14.04	10.56	7.04	0.55	6.08	1.46	4.12	
	B 群	文化関係クラブ		44.46	14.05	12.10	3.53	0.52	6.48	2.13	4.45	
	25% 50%	体育科	主 任		45.20	12.53	7.17	10.00	3.27	5.00	1.39	5.04
			男 子		48.25	14.10	9.02	12.15	2.47	5.52	1.29	2.50
女 子				43.29	13.37	9.53	7.27	1.38	6.49	0.59	3.06	
A 群			44.56	14.32	12.07	6.03	0.48	6.42	1.59	2.45		
B 群			43.46	14.05	12.20	4.33	1.06	5.59	2.23	3.20		
C 群			43.52	13.31	12.10	5.22	1.14	5.38	1.47	4.10		
A 群		体育関係クラブ		45.56	14.14	12.27	6.59	1.08	6.21	1.53	2.54	
B 群	文化関係クラブ		41.53	13.48	11.36	3.26	1.06	5.46	2.07	4.04		
51% 75%	体育科	主 任		45.01	11.40	9.54	9.52	5.00	3.15	1.32	3.48	
		男 子		47.47	13.45	8.46	12.17	3.36	5.11	1.44	2.28	
		女 子		42.37	13.33	10.37	7.26	1.16	5.40	1.10	2.55	
	A 群		46.33	14.14	11.49	6.04	1.17	6.56	2.43	3.30		
	B 群		47.09	14.37	12.35	7.07	1.36	5.30	1.52	3.52		
	C 群		44.45	14.51	12.14	6.50	0.49	5.23	1.48	2.50		
	A 群	体育関係クラブ		46.45	14.35	11.50	7.39	1.27	5.40	2.10	3.24	
B 群	文化関係クラブ		45.12	14.29	12.29	5.30	1.11	6.21	1.49	3.23		

以上、1週間の勤務状況を時間量で捉えた結果、学校の課程別、進学希望率、さらに、教科群別にみても、体育教師の勤務時間は長くなっている。これは、クラブ指導に充てられる時間が、他教科の教師よりも多いことによる。また、他教科の教師でも、体育関係クラブの指導に当たれば、体育の教師と同じように、若干の差異はあるにしても、その勤務時間が長くなっていることは明らかである。

(2) 教師の休日の勤務状況とクラブ指導

昭和39年度の始業時から7月30日までの休日（夏期休暇を除き、19日）の出勤状況を、教科群別、クラブ種別、勤務内容別、課程別、進学希望率別にみたのが、表6、7である。この資料からは、課程の如何をとわず、また、進学希望率の高低に拘わらず、体育教師が休日に出勤する率は高く、その内容は、クラブ指導、加盟団体の関係が主になっている。他教科の場合にも、体育関係クラブの指導に当たっている教師は、体育教師と同じ傾向を示しているし、また、課程の違いや、進学希望率の高低による教科の補習指導のための、休日の出勤日数に差異がみられるが、体育教師に比べ、時間的な面では問題にならない程、少ないといつてよい位である。

表 6 課程別にみた教師1人当たり休日勤務日数 休日の総計は19日

課程別	項		合計勤務日数	勤務内容					
	教科群	クラブ種別		目	クラブ指導	補習指導	研究会 講習会	学校加盟 団体の 合審判 会等	その他の 校務
普通課程	体育科	主任	15.2	6.3	0.1	1.2	6.2	1.4	
		男子	14.4	7.8	0.1	1.2	4.2	1.1	
		女子	11.1	4.9	0.2	1.3	2.9	1.8	
	A	群	8.3	4.4	0.5	0.8	1.0	1.6	
	B	群	7.5	4.1	0.5	0.7	1.0	1.2	
	C	群	7.2	3.3	0.5	1.1	0.9	1.4	
	A B C	群	9.5	5.7	0.5	0.8	1.2	1.3	
両課程併設	体育科	主任	14.7	6.6	0.1	1.6	4.7	1.7	
		男子	15.2	8.3	0.2	1.5	4.0	1.2	
		女子	11.9	5.9	0.1	1.9	2.2	1.7	
	A	群	8.5	4.7	0.6	0.6	1.0	1.6	
	B	群	8.3	4.5	0.5	0.9	0.6	1.8	
	C	群	8.0	4.4	0.4	0.6	0.9	1.7	
	A B C	群	10.2	6.2	0.4	0.7	1.1	1.8	
職業課程	体育科	主任	14.5	6.0	0	1.7	5.7	1.1	
		男子	15.4	7.9	0.1	1.4	4.9	1.1	
		女子	9.3	4.2	0.1	1.4	1.9	1.7	
	A	群	7.5	4.5	0.1	0.6	1.1	1.2	
	B	群	5.7	3.0	0.1	0.7	0.5	1.4	
	C	群	8.6	4.1	0.1	0.7	1.3	2.4	
	A B C	群	9.4	5.8	0.1	0.6	1.2	1.7	
希望率	25	主任	14.2	6.2	0.1	1.3	5.3	1.3	
		男子	15.3	8.1	0.1	1.5	4.3	1.3	
		女子	10.0	4.5	0.2	1.6	2.0	1.7	

表 7 進学希望率別にみた教師1人当たり休日勤務日数 休日の総計は19日

希望率	項		合計勤務日数	勤務内容					
	教科群	クラブ種別		目	クラブ指導	補習指導	研究会 講習会	学校加盟 団体の 合審判 会等	その他の 校務
25	体育科	主任	14.2	6.2	0.1	1.3	5.3	1.3	
		男子	15.3	8.1	0.1	1.5	4.3	1.3	
		女子	10.0	4.5	0.2	1.6	2.0	1.7	

%	以	A 群	7.6	4.4	0.2	0.6	0.9	1.5
		B 群	6.5	3.5	0.2	0.7	0.6	1.5
		C 群	9.0	4.7	0.2	0.7	1.1	2.3
下	A C 群	体育関係クラブ	8.6	4.9	0.2	0.7	1.1	1.7
	B 群	文化関係クラブ	4.8	1.5	0.3	0.8	0.5	1.7
26	体育科	主 任	14.9	6.2	0	1.4	5.5	1.8
		男 子	14.8	7.9	0.1	1.2	4.6	1.0
		女 子	12.6	5.8	0	1.6	3.1	2.1
50	A 群	9.9	5.3	0.9	0.6	1.5	1.6	
	B 群	7.5	3.7	0.5	0.8	1.0	1.5	
	C 群	6.9	3.5	0.5	0.7	0.8	1.4	
%	A C 群	体育関係クラブ	10.7	6.2	0.7	0.6	1.5	1.7
	B 群	文化関係クラブ	4.8	1.7	0.5	0.9	0.5	1.2
51	体育科	主 任	15.1	7.2	0.1	1.3	5.3	1.2
		男 子	14.9	8.2	0.2	1.4	4.3	0.8
		女 子	10.8	4.8	0.2	1.5	2.6	1.7
75	A 群	8.4	4.5	0.5	0.9	1.0	1.5	
	B 群	8.6	5.1	0.7	0.7	0.9	1.2	
	C 群	7.4	3.7	0.4	0.9	1.4	1.0	
%	A C 群	体育関係クラブ	10.0	5.8	0.6	1.0	1.3	1.3
	B 群	文化関係クラブ	5.3	2.7	0.4	0.5	0.7	1.0

## 7. 結 び

前述した考察の結果をまとめて、次の2点に要約した。

- (1) 高校教師の週日の勤務時間は、課程別及び進学希望率の高低の如何を問わず、クラブ指導、なかでも、体育関係クラブの指導にあたっている教師の場合、他の教師より長く、体育教師の場合には、その教科の特性からみて、さらに長くなっている。
- (2) 休日における出勤の割合は、体育関係クラブを指導している教師が、文化関係クラブを指導している教師よりも高いが、体育担当教師の場合は、前2者よりもさらに高くなっている。このような傾向は、(1)の場合と同様に、課程別、進学希望率の高低と関係なくみられる現象である。

以上、本小論は、教師とその勤務時間の分析を中心にしてまとめたもので、<sup>3</sup>「クラブ指導の問題」に視点をおいたものである。今後さらに、他の視点に立つ資料を補うことにより、学校運動部を考察し、そのうえで、体育・スポーツ集団の問題に進みたいと計画している。

この小論は、第15回日本体育学会のシスボジュームで取り上げた拙稿<sup>4</sup>「高校運動部の現状と問題」の内容と併せて集成されるものであり、調査は全国高等学校長協会の協賛の下に行なった。また、収録にあたり、紙数の都合で、夏季休暇や校外指導の問題については、残念ながら省略したことを記しておく。

- |      |               |             |
|------|---------------|-------------|
| 参考文献 | 「社会調査ハンドブック」  | 安 田 三 郎 著   |
|      | 「社会調査の方法」     | 福 武 直 著     |
|      | 「現代教育学講座」 14巻 | 岩 波 書 店 発 行 |